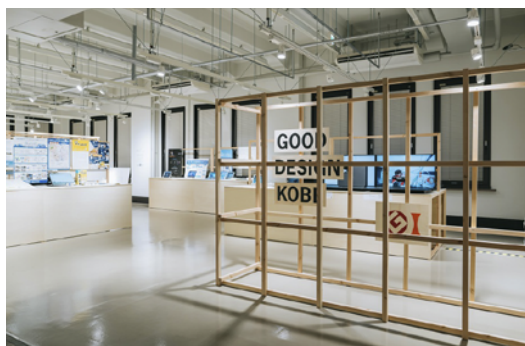


うわさ部



神戸市の施策や地域の豆知識を神戸弁の「うわさ」形式で広め、情報をより届けやすくする取り組みです。市職員が「うわさ部」を結成し、「神戸のうわさ」の活用についてワークショップを行いました。吹き出し型のシールにした「うわさ」が鉄道駅・病院・庁舎・公用車などに貼り出されています。

グッドデザイン神戸展 2019



2019年度のグッドデザイン賞を集めた「グッドデザイン神戸展 2019」をKIITOにて開催しました。市民に最新のよいデザインを知っていただくため、東京の展覧会に続いて神戸では特別賞等34点を紹介しました。会期中は、展示に加えて、グッドデザイン賞にまつ

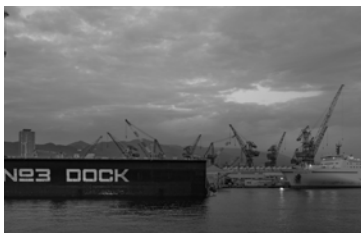
わるトークイベントやワークショップ、模擬審査を実施し、様々な角度から、くらしを豊かにするグッドデザインの世界にせまりました。

神戸の学校給食 PR

神戸市で完全給食が始まって70年を迎えるにあたり、「神戸の給食」をアピールする様々な取り組みを行いました。その中で、中学校給食をもっと美味しく感じ、もっと愛着を持ってもらえるように、給食のランチボックスをリデザインしました。また、70年間の学校給食から厳選したレシピを掲載したレシピ本を制作、発売しています。1月には、中学校給食の試食や食育体験ができる「みんなの大給食展 - 神戸を育てた70年 -」を開催しました。



アート・プロジェクト KOBE 2019:TRANS-



秋に神戸で開催された「アート・プロジェクト KOBE 2019:TRANS-」は、現代アートを切り口に何かを“飛び越え、あちら側へ向かう”ための試みです。参加作家として世界の第一線で活躍するドイツのグレゴール・シュナイダー氏と神戸出身のやなぎみわ氏を迎え、新開地、兵庫港、新長田の3つのエリアを舞台に、地域の歴史や文化を踏まえた美術作品や野外劇など、様々な仕掛けが出現しました。

ノーギョ・ギョギョ・ギョギョー ラボラトリーズ



神戸産農水産物を題材に、若者・企業・農漁業者が連携した「ものづくり」と「ネットワークづくり」のプロジェクトを2012年から進めています。今年

度は「ノーギョ・ギョギョ・ギョギョー ラボラトリーズ」として、高校生から大学生の8つのチームが、クリエイターとともに現地調査やヒアリングなどを

行い、神戸産濃厚ソースやヤギ小屋などアイデアを形にしました。2月には活動発表のほか、マルシェでの販売やトークイベントも開催しました。

海外との連携



「LIFE IS CREATIVE展 2019」(10月)では、KIITOの取り組みに加え、日本と同じく高齢化が進む台湾の先進的な取り組みを展示するとともに、台湾からのゲストによるトークイベント等を行いました。共催した台湾デザインセンターとは、交流協力のための協定を締

結し、台北にて巡回展を開催しました。「災害＋クリエイティブ展」(1月)では、ニューヨークのパーソンズ美術大学環境構築学部の学生作品を、震災から25年を迎えた神戸で展示し、同大学からのゲストによるトークイベントも実施しました。